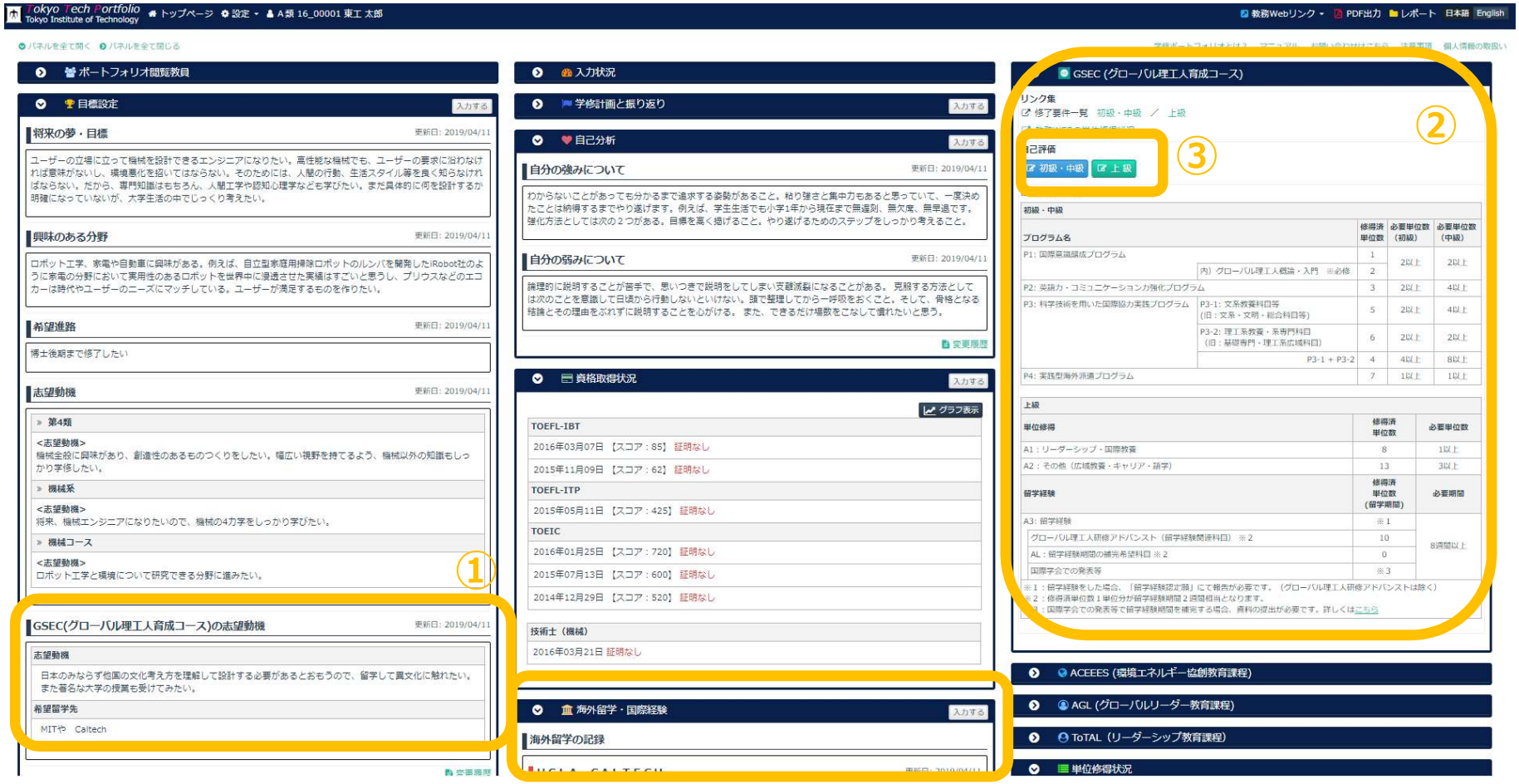
ポートフォリオの手引き

グローバル理工人育成コース Global Scientists and Engineers Course

時期	所属時			修了要件単位の履修や英語力スコア取得が完了＝修了時		修了手続き
タスク	ポートフォリオダッシュボード	所属時ルーブリック	各プログラムの科目省察	修了時の総評コメント	修了時のルーブリック	修了申請

①教務Webシステム→学修ポートフォリオにアクセスし入力を始めてください。

②ここでグロ理の履修状況を確認できます。（教務Webの「GSEC単位修得状況」ページでも確認可）



時期 | 所属時 | 修了要件単位の履修や英語力スコア取得が完了＝修了時 | 修了手続き

タスク | ポートフォリオダッシュボード | 所属時ルーブリック | 各プログラムの科目省察 | 修了時の総評コメント | 修了時のルーブリック | 修了申請

前スライドの③をクリックし、ルーブリックの入力画面に進みます。
所属時のルーブリックを入力してください。注) 登録を一度するとリセットできません。
各項目について、一番適当と思われる番号のセルをクリックしてください。

（1）国際意識	1	2	3	4	5
多文化共生についての理解	「多文化共生社会」という言葉の意味を知らない。	「多文化共生社会」という言葉の意味を知っている。	「多文化共生社会」という言葉の意味を説明できる。	「多文化共生社会」がどのようなものか、具体的な事例を用いて説明できる。	「多文化共生社会」がどのようなものか、自分の属する社会と異なる社会を比較し、相違点を具体的な事例を用いて説明できる。
俯瞰的視野（専門性・行動）	自分の専門分野と社会の関りを考えたことはない。	自分の専門分野と社会の関りを考えたことがある。	自分の専門分野と社会の関りを１つの事例を用いて説明できる。	自分の専門分野と社会の関りを２つの事例を用いて説明できる。	自分の専門分野と社会の関りを３つの事例を用いて説明できる。
俯瞰的視野（専門性・行動）	自分の行動が世界の課題にどう影響するか考えたことはない。	自分の行動が世界の課題にどう影響するかを考えたことがある。	自分の行動が世界の課題にどう影響するかを、１つの事例を用いて説明できる。	自分の行動が世界の課題にどう影響するかを、２つの事例を用いて説明できる。	自分の行動が世界の課題にどう影響するかを、３つの事例を用いて説明できる。
国際的な視点	諸外国の課題について知らない。	諸外国の課題について考えたことがある。	諸外国の課題について説明できる。	諸外国の課題について、その原因や解決策を説明できる。	諸外国の課題について、歴史的背景や自国の視点も含めて説明でき、社会的・経済的な事情も踏まえてその原因や解決策を説明できる。
グローバルな活躍への意欲	自分の興味ある分野において将来どのように活躍したいか考えたことはない。	自分の興味ある分野において将来どのように活躍したいか具体的な目標がある。	自分の興味ある分野において将来どのように活躍したいか具体的な目標があり、そのために必要な能力を理解している。	自分の興味ある分野においてその国際的な流れを理解し、将来どのように活躍したいか具体的な目標があり、そのために必要な能力を得るために、最近何か取	自分の興味ある分野においてその国際的な流れと自国の方向性を理解し、将来どのように活躍したいか具体的な目標があり、そのために必要な能力を得るため

時期	所属時	修了要件単位の履修や英語力スコア取得が完了＝修了時	修了手続き

タスク	ポートフォリオダッシュボード	所属時ルーブリック	各プログラムの科目省察	修了時の総評コメント	修了時のルーブリック	修了申請

各プログラムごとに、履修した科目についての総体的な省察を記入してください。

時期	所属時	修了要件単位の履修や英語力スコア取得が完了＝修了時	修了手続き

タスク	ポートフォリオ ダッシュボード	所属時 ルーブリック	各プログラム の科目省察	修了時の 総評コメント	修了時の ルーブリック	修了申請

コースの修了要件を満たした上での総評を記入してください。

時期	所属時			修了要件単位の履修や英語カスコア取得が完了＝修了時		修了手続き
タスク	ポートフォリオ ダッシュボード	所属時 ルーブリック	各プログラム の科目省察	修了時の 総評コメント	修了時の ルーブリック	修了申請

前スライドの③をクリックし、ルーブリックの入力画面に進みます。
修了時のルーブリックを入力してください。注) 登録を一度するとリセットできません。
各項目について、一番適当と思われる番号のセルをクリックしてください。

（1）国際意識	1	2	3	4	5
多文化共生についての理解	「多文化共生社会」という言葉の意味を知らない。	「多文化共生社会」という言葉の意味を知っている。	「多文化共生社会」という言葉の意味を説明できる。	「多文化共生社会」がどのようなものか、具体的な事例を用いて説明できる。	「多文化共生社会」がどのようなものか、自分の属する社会と異なる社会を比較し、相違点を具体的な事例を用いて説明できる。
俯瞰的視野（専門性・行動）	自分の専門分野と社会の関りを考えたことはない。	自分の専門分野と社会の関りを考えたことがある。	自分の専門分野と社会の関りを１つの事例を用いて説明できる。	自分の専門分野と社会の関りを２つの事例を用いて説明できる。	自分の専門分野と社会の関りを３つの事例を用いて説明できる。
俯瞰的視野（専門性・行動）	自分の行動が世界の課題にどう影響するか考えたことはない。	自分の行動が世界の課題にどう影響するかを考えたことがある。	自分の行動が世界の課題にどう影響するかを、１つの事例を用いて説明できる。	自分の行動が世界の課題にどう影響するかを、２つの事例を用いて説明できる。	自分の行動が世界の課題にどう影響するかを、３つの事例を用いて説明できる。
国際的な視点	諸外国の課題について知らない。	諸外国の課題について考えたことがある。	諸外国の課題について説明できる。	諸外国の課題について、その原因や解決策を説明できる。	諸外国の課題について、歴史的背景や自国の視点も含めて説明でき、社会的・経済的な事情も踏まえてその原因や解決策を説明できる。
グローバルな活躍への意欲	自分の興味ある分野において将来どのように活躍したいか考えたことはない。	自分の興味ある分野において将来どのように活躍したいか具体的な目標がある。	自分の興味ある分野において将来どのように活躍したいか具体的な目標があり、そのために必要な能力を理解している。	自分の興味ある分野においてその国際的な流れを理解し、将来どのように活躍したいか具体的な目標があり、そのために必要な能力を得るために、最近何か取	自分の興味ある分野においてその国際的な流れと自国の方向性を理解し、将来どのように活躍したいか具体的な目標があり、そのために必要な能力を得るため

全ての記入が終わったら、「修了判定申請」をクリックしてください。

⇒グローバル人材育成推進支援室に申請願が届きます。
その後、学内での修了判定確認が行われます。
※修了判定は、学部卒業時、または修士修了時のみです。

便利機能

コースで修得した能力を自動でドキュメント化できます

✓コースを通して育成された能力

✓履修済みの科目一覧　✓留学経験　✓英語力スコア

✓ルーブリックでの自己評価チャート（非表示設定も可能）

を１枚のシートにPDF出力、また印刷が可能です。

自己アピールの資料として活用ください。

（出力紙のサンプル）

東京工業大学

東京工業大学　グローバル理工人育成コース
国際性に関する能力の概要

氏名　東工 太郎
所属　A類

下記科目の履修を通し，各能力が育成されたことを認める。

プログラムと育成する能力	科目
国際意識醸成プログラム **1）多文化共生についての理解** 「多文化共生社会」がどのようなものか，自分の属する社会と異なる社会を比較し，相違点を具体的な事例を用いて説明できる。 **2）俯瞰的視野（専門性・行動）** ・自分の専門分野と社会の関りを３つの事例を用いて説明できる。 ・自分の行動が世界の課題にどう影響するかを，３つ以上の事例を用いて説明できる。 **3）国際的な視点** 諸外国の課題について，歴史的背景や自国の視点も含めて説明でき，社会的・経済的な事情も踏まえてその原因や解決策を説明できる。 **4）グローバルな活躍への意欲** 自分の興味ある分野においてその国際的な流れと自国の方向性を理解し，将来どのように活躍したいか具体的な目標があり，そのために必要な能力を得るために，継続的に何かに取り組んでいる。	● 社会科学系ゼミ（日米関係と沖縄）1 ● キャリア、パーソナリティ、ライフスタイルのバランス戦略（修士） ● 社会科学系ゼミ（日米関係と沖縄）1 ● 先端/防衛技術の研究・開発・試験・評価の政策分析（入門） ● 先端/防衛技術の研究・開発・試験・評価の政策分析（入門） ● 文系エッセンス２８：音楽と社会
英語力・コミュニケーション力強化プログラム **1）海外の大学などで勉学するのに必要な英語力(リスニング)** 自分の専門分野の技術的な内容を含む英語での授業を聴き，理解できる。 **2）海外の大学などで勉学するのに必要な英語力(リーディング)** 自分の専門分野に関する技術的な内容を含む英語論文などの資料を，理解できる。 **3）海外の大学などで勉学するのに必要な英語力(スピーキング)** 自分の知っているトピックについて，様々な表現を用いて，人前で発表したり，質疑応答したりできる。 **4）海外の大学などで勉学するのに必要な英語力(ライティング)** 豊富な語彙を用い，分かりやすく，文法の間違いがほぼない，4000ワード（A4・4ページ程度）の英文を書くことができる。 **5）コミュニケーション力** 相手の文化的背景や考えを理解した上で，あらかじめ準備してきた話題でなくても，自然に英語で議論を楽しむことができる。	● 社会科学系ゼミ（日米関係と沖縄）1 ● グローバル理工人研修アドバンスト1A ● 社会科学系ゼミ（日米関係と沖縄）1 ● 社会科学系ゼミ（日米関係と沖縄）1 ● 社会科学系ゼミ（日米関係と沖縄）1 ● アジア交流派遣学習（Tokyo Tech-AYSEAS）
科学技術を用いた国際協力実践プログラム **1）異文化対応力** 自分と異なる個人や団体について，自分との相違点・共通点を理解し受け入れ，相手の立場に立って行動することができる。 **2）異文化チームワーク力** 自分と異なる個人とのグループワークや団体行動の場において，役割を理解し，自ら行動でき，他者への配慮もでき，協働の方法についても提案できる。 **3）課題発見力** 実体験を含む複数のリソースから分析に必要な定性的・定量的情報を取得でき，分析を行い，課題を見いだし，その原因と本質を明確に理解できる。 **4）課題解決力** 社会の課題について，自分の専門分野と関連した視点から様々な影響を考慮した上で，合理的な解決方法を提案し，実現可能性を検証できる。	● キャリア、パーソナリティ、ライフスタイルのバランス戦略（修士） ● 社会科学系ゼミ（日米関係と沖縄）1 ● キャリア、パーソナリティ、ライフスタイルのバランス戦略（修士） ● アジア交流派遣学習（Tokyo Tech-AYSEAS） ● グローバル理工人研修アドバンスト1A ● グローバル理工人研修アドバンスト1A

実践型海外派遣プログラム

1）プログラムを通した学習能力
将来計画と関連付けた明確な目標を持って積極的に海外研修に参加し，帰国後も将来計画と合わせた行動を継続することができる。

2）自主的な学びを深める能力
訪問国の概要，歴史・文化などを説明でき，訪問国に関連した自分の学びを深めるために主体的に行動し，今後の留学やキャリアの参考とすることができる。

3）危機管理能力
・渡航中の健康管理，危険回避の方法について常に実践している。
・病気になったり，事件・事故に遭遇した場合の連絡先（医療機関や大使館，警察など）を把握しており，何かあった場合は自分で解決することができる。

- 社会科学系ゼミ（日米関係と沖縄）1
- グローバル理工人研修アドバンスト1A
- 先端/防衛技術の研究・開発・試験・評価の政策分析（入門）
- グローバル理工人研修アドバンスト1A
- アジア交流派遣学習（Tokyo Tech-AYSEAS）
- グローバル理工人研修アドバンスト1A

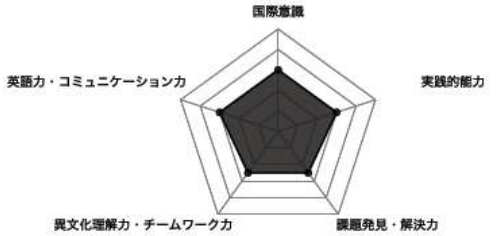
海外留学と国際経験

海外留学
- ＵＣＬＡ（アメリカ合衆国）2013/08/14 ～ 2013/08/30
- ＵＣＬＡ，ＣＡＬＴＥＣＨ（アメリカ合衆国）2015/08/03 ～ 2015/08/31

国際経験
- サンフランシスコ（アメリカ合衆国）2016/03/07 ～ 2016/03/14

英語力
- TOEFL iBT　スコア: 120
- TOEFL ITP　スコア: 677
- TOEIC　スコア: 990
- IELTS　スコア: 9
- 英検　1

東工 太郎の国際性に関する能力（自己評価）



備考

グローバル理工人育成コースは，本学の学士課程・修士課程において「国際基礎力」，「国際実践力」，「国際協働 力」を段階的に発展させる国際性涵養に特化した教育カリキュラムである。本コースでは専門性 を基礎としたアイデンティティー・知識・経験・技術力を基軸とし，多様性を理解し，倫理観を 持って，グローバル社会の未知な課題に対応できる「科学・技術の力で世界に貢献する人材」を 育成することを目的とする。